

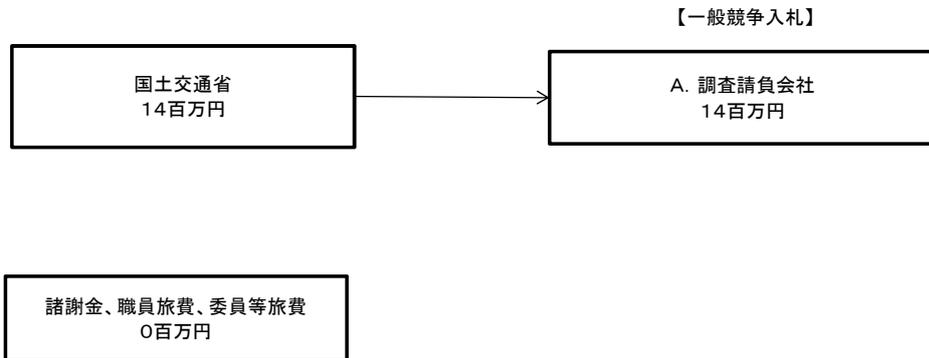
平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	大規模災害時における船舶の活用の円滑化の推進		担当部局庁	海事局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H25~		担当課室	内航課		大石 英一郎	
会計区分	一般会計		政策・施策名	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化 19 海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなとの振興、安定的な国際海上輸送の確保を推進する			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国・地方自治体の防災計画や緊急輸送計画における位置付けと関係者間の役割分担、その上で必要となる船舶の機能・役割やそれらを確保するための課題等を調査し、船舶の具体的な活用促進方策を取りまとめることを目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	学識経験者、事業者関係、地方自治体、関係省庁等で構成する「大規模災害時の船舶の活用等に関する調査検討会」を開催し、以下の項目について整理し、船舶の具体的な活用促進方策を取りまとめる。 1. 国・自治体の防災計画体系における船舶活用の位置付けの整理 2. 船舶の特性を踏まえた大規模災害発生時における船舶の機能・役割 3. 大規模災害発生時における効率的・効果的な船舶活用方策を実現するための設備上の課題						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算				14	120
		繰越し等					
		計				14	120
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	当該事業は、大規模災害時における船舶の効率的・効果的な活用方法について調査・検討を行うものであり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。	成果実績					
	達成度	%					
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	当該事業は、大規模災害時における船舶の効率的・効果的な活用方法について調査・検討を行うものであり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。	活動実績(当初見込み)		()	()	()	-
単位当たりコスト	(円/)	算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0	0	平成25年度においては、大規模災害時における船舶の機能・役割や活用促進のための課題を整理・議論しており、この調査事業において示された方向性を踏まえ、今後発災が予想される大規模災害において、船舶による緊急輸送、被災者生活支援等の活動を円滑に実施するためには、以下の取り組みにより船舶による支援体制を強化することが必要不可欠であるため。 ・災害支援対応可能な船舶の確保に向けた具体的方策の検討 ・大規模災害時における利用可能船舶の情報管理体制の構築 ・災害時の船舶活用に関する実務手順の円滑化			
	職員旅費	0	0				
	委員等旅費	0	0				
	総合的物流体系整備推進調査費	14	119				
計	14	120					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、大規模災害時に人員・物資の緊急輸送、被災者の生活支援など極めて重要な役割を果たす船舶の活用方策を取りまとめるものであり、今後発災が懸念される大規模災害への対策として防災・減災に資するものであるため、国が行うべき優先度の高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果						
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
	他の事業との間で、予算執行においては重複を避けるとともに、施策面で連携を取りながら進めるよう、適切かつ効率的な予算の執行を図るべきである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
	他の事業との間で、予算執行における重複はなく、関連部局の事業等と施策面での連携を取りながら進めている。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	-				
2	-				
3	-				
4	-				
5	-				
6	-				
7	-				
8	-				
9	-				
10	-				

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	-				
2	-				
3	-				
4	-				
5	-				
6	-				
7	-				
8	-				
9	-				
10	-				